



第 45 回 体 育 祭

前日の強烈な日差しはおさまり、過ごしやすい天候の中、令和6年度第45回体育祭が実施されました。この体育祭での「狙い」は4つありました。そのうちの2つへの生徒たちの取組を振り返ってみようと思います。

- 選手・係など自分の役割を果たし、団結を強め友情の輪を広げる
- 異年齢集団による活動を通じて、上級生から学び下級生に伝える中で自己の課題を追究させる

言い換えれば、一人一人が責任を果たす中で一つの目標に向かい努力し、互いに理解すること。そして、上級生としての自覚の下、四中の伝統を下級生に伝えるとともに、活動を通じて自己理解を深めていくことでしょうか。その視点から今回の体育祭を振り返ってみると、生徒たちは素晴らしい頑張りを見せ、この狙いを達成してくれたと思います。

まずは係の仕事です。様々な係に生徒一人ひとりがかかわっているのですが、体育祭全体を通じて、競技に出場する生徒たちが安心して活動している姿がありました。その結果、一つひとつの競技が、報道委員会が選んだBGMに乗って、実にスムーズに進行していました。これは、それぞれが係の仕事を、自己の責任を果たすことはもちろんのこと、協力し、互いにフォローすることができたからです。本当によく頑張ったと思います。



さて、四中の伝統とは何か。それは、縦割り種目はもちろんのこと、様々な場面において上級生が下級生を引っ張り、手本を見せていくこと。そして上級生は力の限り頑張り、その姿を見ている下級生も全力で頑張り、そして共に一致団結し、一体感を生み出していくことだと思います。



会場にお越しになって、ご覧になっていた皆様はおわかりだと思います。生徒たちは一人ひとりが全力で最後まで頑張り、感動のあまり涙を流す瞬間もありました。そのような感動的な瞬間を積み重ね、その結果最高の団結を生み出しました。それは3年生が下級生の競技を大きな声で応援し、大歓声の下1・2年生が頑張った瞬間でした。

そして全校ダンスの後の「友情の文字」。昭和62年以来37年間続いてきている「伝統」の四中の取組、生徒会長の徳光咲季さんが、今年の文字「FUN」について次のように全校生徒に訴えました。

今年の友情の文字は「FUN」です。この3文字には「今回の体育祭が、皆さんにとってかけがえないものになるよう、勝敗に関わらず四中生全員が楽しめるものにしたい」という思いが込められています。ここからはいよいよ最後の種目です。これまでの競技を納得のいくものにできた人、そうでない人…いろいろな思いが交差するこの場で、それらが一丸となり、この体育祭の集大成にふさわしいものになることを願っています。



この言葉がすべてを物語り、そしてまとめてくれました。生徒の皆さん、本当によく頑張りました。今年度の最初の全校行事、いいスタートが切れたと思います。ご家庭の皆様、様々な面からのご支援、本当にありがとうございました。

部活動 3年生最後の大会が始まっています

3年生にとって中学校生活最後の部活動の試合、選手権大会が始まっています。まずはサッカー部の結果をお知らせします。

第9ブロックサッカー夏季大会予選リーグ

5/12 (日)	調布中会場	1 - 0	成蹊中
5/19 (日)	調布中会場	1 - 1	調布八中
5/26 (日)	調布五中会場	7 - 2	武蔵野四中
6/2 (土)	三鷹一中会場	2 - 0	三鷹六中

予選リーグ無敗で決勝トーナメント決定です。他の運動部の試合も、6月になると始まります。体育祭でもそうだったように、最後まであきらめず、全力で頑張ってください。

がんばれ！ 四中部活動！！

※ 学校 HP 版には「6・7月の予定」を掲載していません。